

○ 誰もが理解しやすい計画を策定する。

→ 八戸市が目指す男女共同参画社会を実現するためには、市民、事業者、行政それぞれが、基本計画の趣旨を理解し、実践することが肝要であることから、計画の策定に当たっては、わかりやすい文言や表現を用いるなど、誰もが理解しやすい計画を策定する。

○ 八戸市の実情を踏まえた計画とする。

→ 国や県の基本計画、八戸市総合計画との整合性を踏まえつつ、アンケートの結果から、八戸市の現状を分析するとともに、審議会や庁内連絡会議、パブリックコメント等により、八戸市の実情を踏まえた目標や施策を立案し、計画に位置付ける。

○ 多様な分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込む。

→ 男女一人ひとりが生き生きと暮らすことのできる八戸市を実現するためには、多様な分野において、男女共同参画・女性活躍の視点を取り込んだ施策の推進が重要であることから、計画に位置付ける事業は、市のすべての政策を対象として検討する。

○ 女性に選ばれる地域づくりの施策を新たに位置付ける。

→ 女性が地方を離れる動きが加速しており、女性が活躍でき、暮らしやすい地域づくりの必要性が高まっていることから、女性に選ばれる地域をつくるための施策を新たに位置付ける。

○ 計画の進行管理を位置付ける。

→ 計画の期間が5年間であることを鑑み、計画の期間中も社会情勢などの変化に対し適切に対応するため、計画に登載する事業について、毎年の評価を行うとともに、必要に応じて事業の見直しや新たな事業の追加などを行うこととし、進行管理についても計画に位置付ける。